

対兵庫高校春季定期戦

令和6年5月8日

心配された前日の雨によるグラウンドコンディションも問題なく、薄曇りの中、令和6年度の兵庫高校との春季定期戦を本校で開催しました。

今から110年前の大正2年(1913年)、兄弟校と言われる一中と二中の野球定期戦が年1回春に行われるようになり、その後5月に野球、12月にラグビーの対抗戦が実施され、昭和42年からは今のように種目を拡大して春秋定期戦が開催されています。

今回は野球、サッカー、男女バレーボール、男女ソフトテニス(柔道は兵庫高校の棄権により試合なし)で、熱戦を繰り広げました。各試合は伯仲した戦いでしたが、今回は残念ながら2対4で兵庫高校が優勝しました。野球では吹奏楽部も加わった全員での応援が見応え、聞き応えのあるものでした。前日の壮行会では雨のため応援練習ができず、ぶっつけ本番となりましたが、バリエーション豊富な応援は神戸高校の方が勝っていたと思います。PTAからいただいた応援用のスポーツタオルも効果的でした。それぞれが母校の誇りを胸に戦い、母校愛を前面に出しての応援は見事でした。

ちなみに私も2年ぶりの野球の始球式を無事に終えることができました。2年間イメージトレーニングした甲斐がありました。

